

未来を力強く生きるための力

片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

日々全力で、一筋に生き甲斐に打ち込む中に「生きる力」はきつと宿る。

東の空が紅く明らみ始めると、光の筋を放ちながら太陽が現れる。それまでの漆黒の世界が嘘のように、迎り一面、光の世界へと変わっていく。これが一年の最初の光景であるなら、一層厳かな気持ちに深まります。これから始まる一年が良い年となるように願ひながら、さらに、幸せな未来を祈りながら。

「生きる力」とは何だろう？ 教育の方でも、「このころの数年、「生きる力」という言葉がよく使われているようです。ちよつと調べてみますと、「言語の力」「理数の力」「外国語」「道徳」「健やかな体」等を「生きる力」としているようです。なるほどなるほど……。とは書きつつも、これは正直すぎる私の感想なのですが、あまりピンときていません。

「生きる」という言葉の間、奥に生々しい雰囲気と、先ほど列記した言葉の間に次元の違う壁というものがあるように感じてしまい、恐らく、それが原因で私の胸に落ちてこないのだと思います。では、私の胸に落ちる「生きる力」とは何だろう……。そんなことを考えてしまいました。

言葉遊びのような「生きる力」ではなく、もつと本来的な人間臭く生々しい「生きる力」とは何かと考え始めた私は、「生の反対にある死についてでも考えなければならぬ」といふように思い始め、



インターネットにキーワードを打ち込み、たまにヒットした「死をみつめる心岸本英夫」という本を購入し読んでみま

した。この本は、私の知りたかつた多くのことを教えてくれました。この本の筆者である岸本英夫氏は、宗教学者です。スタンフォード大学の客員教授をされていた一九五四年に癌の宣告を受けます。その時は余命半年と診断されましたが、一九六四年までの約十年を生き抜き、その間、死と向き合い苦しみながら、迷いながら、葛藤しながら「生きる」との意味を見つけていきます。

「死」というものは恐ろしいものです。筆者は、その得体的に「死」を恐るし、自分の「生」への執着を意図的に弱くしていきます。まるで飢餓状態になった時に食に執着する執着を強く意識するように、生命に執着する「生」に、初め「生きる」とことへの執着を強く意識するように。そのようにならなければならぬ。その中から、まっくらな暗闇である恐ろしい「死」を見つめていく中で、あることに気づきます。「死とは実態の無いものである」と。「死とは実態である生命が無いところである」というだけのことであり、と。そこから「死」とは恐怖するものから、ただ単に「生命の無い状態」と考えるようになり、死への向き合い方の大転換



くのか分からないものではあるが、死もそのつもりで心の準備をしておけば耐えられるものではないかと考えていきます。死に対する心の準備を考える中で、「生き甲斐」という答えにたどり着きます。「生き甲斐」とは「一つの目標をもって、その目標に心を打ち込んで、一筋に進んでゆくことの中に在るのだ」と筆者は気づきます。そして、その一つの目標とは「仕事」であり、その「仕事」というものは「人間生活の幸福を高めるためのもの」とします。

「ここまで読み進め、ぼんやりとですが、「自分の胸に落ちる『生きる力』というものが現れてきた気がしました。あくまでぼんやりとですが……」

「生きる力」というのは、「この力があれば生きていける」という事前に準備しておくものではなく、「自分が自分の生き甲斐に一筋に打ち込んでいく中で自然と身に付いていくものであり、そのように打ち込んでいて、ふと後ろを振り返った時に身についていたと分かるもの」が本来の「生きる力」なのだろ

う、と考えたところで、自分の胸に落ちてきたような気がしました。ただ、もちろん自分の生き甲斐が何か分かなければ打ち込むべきことも見えてこないでしょうから、今はとにかく、自分の生き甲斐が何かに気づいた時に直ぐに打ち込めるだけの準備が必要になります。それが、多くの中学生・高校生、今の今やっておくことだろうと思います。

「If you live each day as if it was your last, someday you'll most certainly be right.」

またまたステイブジョブズで恐れ入っているのですが、これはステイブジョブズがスタンフォード大学で行った伝説のスピーチの一文です。「その日が人生の最後であるように毎日を生きれば、いつかの通りになることは間違いのない」というような意味です。この言葉にステイブジョブズが感銘を受けたのは、彼が十七歳の時です。

新年早々縁起でもない叱られそうなテーマで書いてしま

年末年始休講日のお知らせ

坂本教室、天神教室ともに

12月27日(日)～1月3日(日)の通常授業はお休みです。

ただし、中学生対象「冬期特別講習」、高3生対象「年納め学習会」は予定通り実施します。また、12月29日(火)の高2英語は行います。

天神教室・坂本教室の1月のお休みは、

1日(金)～3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)です。

全統高1高2記述模試 2月6日(土)実施

申込締切日 1月27日(水)

受験料 3500円

※試験会場はいずれも坂本教室となります。
受験希望者は、別紙実施要項を確認の上、
1月27日(水)までに受験料を添えて申込んでください。
締切後の変更・キャンセルはできません。

まして、さらに「中高生に分かるのか？」という厳しい指摘を受けてしまいそうなテーマで書いてしまいました。正直、我々がちよつと勇氣が必要だったのですが、「生きる力」を簡単に片づけてしまつてはならないと思ひ、書いてみました。このような流れで書くのも何ではございますが、本年も片桐英数塾を何卒宜しくお願い申し上げます。

保護者の方へのお願い

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

QRコードからHPにアクセスすることができます。



2016年も
どうぞよろしく
お願いいたします。

HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>
メールアドレス katagirijuku@docomo.ne.jp

小6生
対象

新中1準備講座

中学生で習う内容を取り上げるだけでなく、将来伸びるのに必要となる土台作りをサポートします。わからなくてもすぐにあきらめないで、じっくり考えるタフな思考力を楽しみながら身につけていきましょう。

教科：英語・算数・国語 月謝：7,560円(税込)

開講日：土曜日16時半～18時半(月4回)

受講生募集中!